

ハンズオン支援事業の概要

令和3年10月
中小企業基盤整備機構
経営支援部

多様な支援ニーズに対応

中小企業が抱える様々な経営課題の解決に向けて、**経営課題の重要性・緊急性などから、最適な支援を提案**、課題解決のサポートを実施します。特定テーマから、地域支援機関等では対応困難な、高度な課題解決の支援（①新分野進出 ②生産性向上 ③高付加価値化 ④IT化 ⑤海外事業展開等）テーマまで、幅広く対応します。

特徴 1

多彩な専門家と支援チームの組成

全国ベースの幅広いネットワークで最適な専門家（アドバイザー）を選定し、機構職員・ハンズオンマネージャーと支援チームを組成し、**チームでの支援**を行います。**支援チームメンバーには、それぞれ役割があり**、役割遂行しながら、複数の目で企業の状況を見て、変化を確認しながら、着実に成果を生み出す支援を行います。

特徴 2

案件ごとにコーディネートしプロセスマネジメント

案件毎に「**支援計画書**」を作成します。支援に入る前に、事前調査やマッチング等、企業の状況を事前に十分に調査して、目標・計画・体制などを決定し、支援中は、支援の進捗管理・成果の評価・派遣終了後のフォローまで、プロセスマネジメントで進めます。

特徴 3

自立・成長の応援のために受け入れ体制を重視

最終目的は、支援終了後の自立的な成長・発展ですので、**アドバイザーのノウハウを移転する**メンバーを事前に決めて、1回ごとに着実に移転が進むよう進捗管理をします。そして、そのメンバーが中心となり、社内プロジェクトチームで実行していきます。アドバイザーは、社内プロジェクトチームに支援を行い、その後、**社内プロジェクトチームが社内に支援内容を横展開していくことで自律化を促進する**ように導きます。

特徴 4

	プロセス型	リソース型
方法	<ul style="list-style-type: none"> 企業に“やりかた”などを教えながら、企業が問題解決力や戦略立案力を身に付ける事をサポート 企業自ら問題解決や戦略立案を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 企業に解決策を提示
企業の立場	<ul style="list-style-type: none"> 主体的 	<ul style="list-style-type: none"> 受身的
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 企業が主体的に問題解決や、戦略策定することができる P D C Aも回せるように 	<ul style="list-style-type: none"> 即効性あり すぐ取り組む事ができる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 企業の力が養われるまでに時間がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> コンサルタントが離れると、企業は独自に問題解決や戦略立案に取り組みにくい

1 事前調査の実施

何度も事前訪問を重ね、経営者の本気度や先方の受け入れ態勢を確認すると共に、経営課題の整理、優先度の確認、支援テーマのすり合わせを行います。

2 支援計画書による関係者の合意

支援企業、派遣されるアドバイザー、中小機構の三者でまとめた『支援計画書』に合意のもとプロジェクトに取り組みます。

3 支援案件ごとに「管理者」を設定

支援企業の支援計画書ごとに、支援案件を管理する『管理者』を配置。管理者は、主に支援計画書の作成、プロセス管理等を担い、各案件のPDCAを中心になって回します。アドバイザーは管理者と報・連・相しながら支援を進めます。

4 複数の目で見えるチーム支援

プロジェクトの支援は、派遣されるアドバイザーだけでなく、シニアAD、管理者AD、職員の4人が参画し、複数の目で見える支援チームで企業の現状や将来像を話し合いきめ細かくサポートします。

5 段階に応じたプロセス設定と進捗管理

アドバイザー派遣前の支援計画書を作成する段階、プロジェクトに取り組む段階、プロジェクトの実行中、終了後の振り返りや今後の課題整理を行う段階を分け、必要な支援プロセスを設定し、それぞれのプロセスの達成状況を見極めつつ支援を進めます。

6 着実なPDCAの実行

アドバイズ期間中は、支援計画書と実績の差異を分析し、必要に応じて支援のアプローチ方法や支援内容を軌道修正するなど、支援目標の達成のため着実にPDCAを回して取り組みます。アドバイザーと管理者の情報共有が着実なPDCAの鍵となります。

中小企業が抱える生産性向上やIT化等の多様な経営課題を解決するため、適切な専門家を派遣し、一定期間集中して支援します。

- ① **機構の支援チーム**が、支援企業の課題を設定し、支援企業に合わせた支援計画を策定
- ② 支援企業は、**社内プロジェクトチーム**を編成して、プロジェクトを展開
- ③ **機構の支援チーム**は、その活動に対してアドバイスをを行い、企業の自立的な成長をサポート

